



4年目へ、国民民主党山形県連

皆様こんにちは。国民民主党山形県連会長の舟山康江です。

2020年9月に国会議員15名でスタートした国民民主党は、この9月で結党4年目を迎えました。私たち山形県連も結党とほぼ同時に設立総会を開催し、新たな船出から4年目を迎えることができました。

私たち国民民主党は、「対決より解決」「つくろう、新しい答え」を旗印に、国民生活向上に向けた、未来を先取りする政策を提案・実現してまいりました。

山形県連におきましても、国政選挙や地方選挙を通じて団結を強め、多くの皆様からの力強いご支持、ご支援と、暖かいご協力を頂き、昨年の参議院議員選挙において議席を守らせて頂いたほか、地方選挙でも党の公認・推薦候補を積極的に擁立し、着実に仲間を増やすことができました。

さらには、全国に先駆けて国民民主党初の政治塾として、「やまがた政治塾」を開講するなど、若い世代を含めた県民の皆様の政治への関心を深めるとともに、積極的な参画を求める新しい試みにも取り組んでいます。

しかし、まだまだ、やらなければならないことが山積しています。「給料の上がる経済」はまだ途上、そして、国づくりの基礎である「人づくり」も急がなければなりません。

食料生産地であり、ものづくりの伝統のある山形県の力をさらに伸ばし、地域から国を動かすことのできる県連となるよう、仲間の皆様の声をさらに足で拾い集め、それをスピーディに実現できる「チカラ」づくりに引き続き挑戦していきます。

これからも、お力をお貸しいただきますよう、心からお願い申し上げます。がんばります!



国民民主党山形県総支部連合会 会長

舟山 康江

「躍進の集い2023」 & 「やまがた政治塾」 閉講式

8月9日、講師に政治ジャーナリストの角谷浩一氏を迎え、「国民民主党山形県連 躍進の集い2023」並びに「やまがた政治塾第4回プログラム及び閉講式」を開催しました。

玉木雄一郎代表も駆けつけご挨拶。多くの皆様に懇親会にも参加し、様々な意見交換をしました。「人づくりこそ、国づくり」「給料が上がる経済」を引き続き目指し、山形県連としても活動してまいります。ご協力頂いた皆様、お支え頂いている皆様に心から感謝申し上げます。



「国民に直接届く」 緊急経済対策を発出!

国の税収の上振れ分を減税で国民に還元すること、物価高対策、子育て・人材育成などを柱とする緊急経済対策を打ち出しました。

持続的な賃上げ実現と国民の暮らしを守るための政策を提案し続けていきますので、皆様からも是非ご意見をお寄せください。

詳しくはQRコード先をご覧ください!



工業団地エネルギー施設を視察

8月24日、国民民主党山形県連政務調査会で、東根大森工業団地にある製薬会社へ電力、蒸気、冷水を提供するキルシュ・エネルギーサービス社様にて施設視察を行いました。

LNGガスを使用する施設で、団地全体へのエネルギー供給も視野に入れた構想を持っています。

エネルギーの効率的な活用を目指す先進事例調査となり大変有意義な時間となりました。今後も注目していきたいと思ひます。



(右)説明を受ける斎藤俊一郎議員・梅津庸成議員
武田聡議員・板垣致江子議員
(左)施設の象徴のLNGタンク

国民民主党代表選東北ブロック討論会in山形



8月26日、山形市内で国民民主党代表選挙東北ブロック討論会が開催されました。

会場満席の中で、玉木候補と前原候補の熱い舌戦が繰り広げられました。

「教育・子育て」をテーマに討論が行われ、質疑応答も活発に行われました。

山形県内に熱中症警戒アラートが発出されたため街頭演説は残念ながら中止となりました。

9月2日、玉木雄一郎衆議院議員が新代表に選出され、「人づくりこそ国づくり」「自分の国は自分で守る」「給料が上がる経済」の三本柱をさらに磨きをかけて「国民民主党を強く大きくしていきたい」と意気込みを熱く語りました。

地方選挙 結果報告



7月以降の地方選挙において、国民民主党公認・推薦の仲間が、皆様の力強いご支援のおかげで、当選を勝ち取ることができました。

天童市の横山愛さんが、新人候補にとっては大変厳しい戦いの中、上位当選し、私たちの仲間に加わりました。

引き続き、地域の声を聴き、地域の発展、社会の安定に向けて、力を合わせ働いてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

横山
愛

(天童市)



初当選 <公認>
宇都宮大大学院農学科卒業
山形県青年農業士、天童市農業委員会広報委員長、山形県農業委員会女性の会理事等を歴任
環境福祉常任委員会委員
昭和49年仙台市出身

村山
隆

(中山町)



当選: 3期 <公認>
山形東高、早稲田大学教育学部卒業
国民民主党山形県連総務会長
厚生副委員長、議会広報委員長
議運委副委員長
町飲食店振興会会長
昭和34年中山町出身

直島
義友

(高島町)



当選: 7期 <推薦>
県立米沢工業高等学校土木科卒業
産業厚生常任委員長等を歴任
決算委員会委員長
高島町[小さな親切]の会会長、町商工会観光サービス部会幹事
昭和21年高島町出身

竹俣
朋

(山辺町)



当選: 2期 <推薦>
山形西高、共立女子大学家政学部卒業
広報常任委員会委員長
厚生産業常任委員会委員、議運委員
国際ソロプチミスト山辺会長
山辺ロータリークラブ副幹事
昭和37年山辺町出身

鈴木
由美子

(尾花沢市)



当選: 2期 <推薦>
山形北高、嘉悦女子短大(嘉悦大)経済学科卒業
産業厚生常任委員会副委員長等を歴任
産業厚生常任委員会委員、議運委副委員長
防災士、尾花沢中同窓会理事
昭和41年尾花沢市出身

片桐
勝寿

(東根市)



当選: 3期 <推薦>
山形南高、法政大学法学部卒業
総務文教常任委員会委員長を歴任
総務文教常任委員会、議会広報委員会
議会のみらい検討委員会
行政書士、山形県宅地建物取引業協会理事
昭和41年東根市出身

